

OBと学生・教員の連携による地域活性化提案活動のご紹介

2020.4.26

五三会会長 松田 智仁(1980年卒)

先日、先輩の三宅智之さん(1978年卒)が小生の職場を訪ねてられました。三宅先輩は、広島県庁退職後2019年春まで広島市都心部で居酒屋「お食事処 栄助」を経営されておりました。かつて私たちは、この店をたびたびお借りして2018年に実施した広島工業大学建築系学科卒業50期・建築・環境系学科同窓会五三会創立45周年記念事業で刊行した記念誌「時空の匠Ⅱ」の編集会議を開催しておりました。毎回、会議後に食事ということで、大変お世話になった店です。写真後列左から2人目。



記念誌編集委員会(会議場所:お食事処 栄助)

お話は母校建築デザイン学科の学生が、三宅先輩のご先祖実家の香川県小豆郡土庄町豊島の地域活性化を提案してくれたという内容でした。行政や大学が募集するタイプの地域連携事業ではなく、建築デザイン学科3年生の授業成果としての提案という建築系の学科らしい地域連携事例であり、活動記録を頂戴したので、ここ五三会ホームページで披露させていただきます。広がり期待です。報告全編パワーポイントは、[こちら\(PDF\)](#)。



3年生 河内研究室の授業



三宅氏からのヒアリング



豊島に入り住民との意見交換



事前提案は4件 サイクリングバー、フォトミュージアム、養蜂、レモネードスタンド



豊島現地調査



各提案の評価



提案絞り込み



提案事業のブラッシュアップ・・・しくみ、ツール、事業体制など



現地報告会